【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2010-51814(P2010-51814A)
【公開日】平成22年3月11日(2010.3.11)
【年通号数】公開・登録公報2010-010
【出願番号】特願2009-254691(P2009-254691)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１３Ｄ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月17日(2010.5.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前記各周回体について各絵柄のうち一部の絵柄を視認可能とする表示部と、
操作された場合に前記各周回体の回転が開始される始動操作手段と、
前記各周回体毎に設けられ、該各周回体を回転させる駆動手段と、
操作された場合に前記各周回体の回転が停止される停止操作手段と、
前記始動操作手段が操作された場合に、特定絵柄の組合せを所定位置に停止させることが可能か否かの抽選を行う抽選手段と、
前記始動操作手段が操作された場合に前記各周回体の回転を開始させ、前記停止操作手段が操作された場合に前記各周回体の回転を停止させるように、前記各駆動手段を駆動制御する駆動制御手段と、
を備え、
前記抽選手段の抽選結果を前記各周回体の停止態様によって表示する遊技機において、
前記駆動制御手段は、所定絵柄の組合せを形成するよう前記各駆動手段を駆動制御する所定絵柄組合せ形成手段を備え、
前記所定絵柄組合せ形成手段は、
前記所定絵柄の組合せを形成する周回体の絵柄位置を検出する絵柄位置検出手段と、
前記絵柄位置検出手段の検出結果に基づき、前記所定絵柄の組合せを形成する周回体に付された前記所定絵柄の位置関係を把握する絵柄位置把握手段と、
前記絵柄位置把握手段の把握結果に基づき、前記所定絵柄の組合せを形成する周回体が回転中に前記所定絵柄の組合せを形成するよう、１の周回体が特定回転制御を実行した後の他の周回体の前記特定回転制御を実行させるまでの待機期間を算出する算出手段と、
前記１の周回体が前記特定回転制御を実行してから前記算出手段により算出された待機期間分だけ遅らせて前記他の周回体の回転制御を実行させる特定駆動制御手段と、
を備えていることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記各周回体について各絵柄のうち一部の絵柄を視認可能とする表示部と、
操作された場合に前記各周回体の回転が開始される始動操作手段と、
前記各周回体毎に設けられ、該各周回体を回転させる駆動手段と、

操作された場合に前記各周回体の回転が停止される停止操作手段と、
前記始動操作手段が操作された場合に、特定絵柄の組合せを所定位置に停止させることが可能か否かの抽選を行う抽選手段と、
前記始動操作手段が操作された場合に前記各周回体の回転を開始させ、前記停止操作手段が操作された場合に前記各周回体の回転を停止させるように、前記各駆動手段を駆動制御する駆動制御手段と、
を備え、
前記抽選手段の抽選結果を前記各周回体の停止態様によって表示する遊技機において、
前記駆動制御手段は、前記各周回体の回転中に所定絵柄の組合せを形成するよう前記各駆動手段を駆動制御する所定絵柄組合せ形成手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
リールを回転させたあとに停止させる遊技機としては、例えばスロットマシンがある。スロットマシンでは、リールの外周部に複数の図柄が付与されており、表示窓を通じてリールに付与された図柄の一部が視認可能な構成となっている。そして遊技者がメダルを投入してスタートレバーを操作することでリールが回転を開始し、ストップスイッチを操作することでリールが停止する。また、スロットマシンの内部ではメダルの投入とスタートレバーの操作を条件として抽選を行っており、抽選の結果が当選であり且つ予め設定された有効ライン上に遊技者が当選となった図柄を停止させることを条件として所定枚数のメダルが払い出されたり、遊技者に有利な所定のゲーム（特別遊技状態）が発生するなどの特典が付与される（例えば特許文献１参照）。また近年では、遊技の興趣を高めるべく液晶ディスプレイ等の補助表示部を設け、この補助表示部にて種々の演出を行うスロットマシンも提案されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
なお、以上の事情はスロットマシンに限らず、複数の周回体を回転させ、その後遊技者の操作に基づいて周回体の回転を停止させる他の遊技機にも該当する事情である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は上記事情等に鑑みてなされたものであり、周回体を用いて好適に演出を行うことができる遊技機を提供することを目的とするものである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明は、前記各周回体について各絵柄のうち一部の絵柄を視認可能とする表示部と、

操作された場合に前記各周回体の回転が開始される始動操作手段と、前記各周回体毎に設けられ、該各周回体を回転させる駆動手段と、操作された場合に前記各周回体の回転が停止される停止操作手段と、前記始動操作手段が操作された場合に、特定絵柄の組合せを所定位置に停止させることが可能か否かの抽選を行う抽選手段と、前記始動操作手段が操作された場合に前記各周回体の回転を開始させ、前記停止操作手段が操作された場合に前記各周回体の回転を停止させるように、前記各駆動手段を駆動制御する駆動制御手段と、を備え、前記抽選手段の抽選結果を前記各周回体の停止態様によって表示する遊技機において、前記駆動制御手段は、所定絵柄の組合せを形成するよう前記各駆動手段を駆動制御する所定絵柄組合せ形成手段を備え、前記所定絵柄組合せ形成手段は、前記所定絵柄の組合せを形成する周回体の絵柄位置を検出する絵柄位置検出手段と、前記絵柄位置検出手段の検出結果に基づき、前記所定絵柄の組合せを形成する周回体に付された前記所定絵柄の位置関係を把握する絵柄位置把握手段と、前記絵柄位置把握手段の把握結果に基づき、前記所定絵柄の組合せを形成する周回体が回転中に前記所定絵柄の組合せを形成するよう、１の周回体が特定回転制御を実行した後の他の周回体の前記特定回転制御を実行させるまでの待機期間を算出する算出手段と、前記１の周回体が前記特定回転制御を実行してから前記算出手段により算出された待機期間分だけ遅らせて前記他の周回体の回転制御を実行させる特定駆動制御手段と、を備えていることを特徴とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】

本発明によれば、周回体を用いて好適に演出を行うことができる遊技機を提供することができる。